



令和6年7月2日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

第36回くにたち朝顔市 7月6日(土)・7日(日)開催

夏の風物詩として定着し、市内外の方々に愛され続けている「くにたち朝顔市」を、以下のとおりで開催いたします。

36回目を迎える今夏も、市内の朝顔栽培農業者が「朝顔の里」で共同栽培した、ここでしか手に入らない“くにたち産の日本朝顔”(あんどん仕立て)を展示即売します。

朝顔に似つかわしい江戸風鈴の即売のほか、模擬店やキッチンカーも出店するので、ご家族連れなどでもお楽しみいただけるイベントです。

このことを、市内外の皆さまに広くお知らせしたく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

記

1. 日時 7月6日(土)・7日(日)午前6時30分～午後3時(売り切れ次第終了)
2. 場所 JR 国立駅南口大学通り緑地帯(一橋大学正門南側)
3. 販売品種 「富士」と「暁」の2種類
4. 価格 1鉢:2,000円
5. 主催 くにたち朝顔市実行委員会

※くにたち朝顔市は、実行委員会に国立市も加わって運営しています。



■くにたち朝顔市の歴史

○朝顔市を始めた経緯

当時、市内のイベントとしては、春のさくらフェスティバル、秋の天下市・市民まつりがあり、夏のイベントだけがぽっかりと空いて、寂しい状況でした。何か、この時期に大学通りをいかしたイベントはできないかと市民の有志が考えました。せっかくなら「子供たちにふるさとの思い出」を提供できたらとの想いも重なって、平成元年に第1回目の「くにたち朝顔市」が始まりました。

○国立産朝顔への経緯

当初は、入谷朝顔市でも仕入先としている江戸川区内の栽培者より朝顔を仕入れていました。こうした中、第1回目から参画していた農業者が、平成2年に「朝顔・鉢物研究会」を結成し、江戸川区内の農園に研修に出かけ、本場の技術を学びながら、試行錯誤の中で朝顔栽培に乗り出しました。第2回目では試行的に、国立産朝顔が展示されましたが、半数以上は江戸川区産に頼っての開催となりました。第3回目には生産者が加わり、計5軒の地元農業者によって、販売される全てが国立産の朝顔となりました。現在は、朝顔栽培農業者が共同して「朝顔の里」をつくり、国立産朝顔を提供し続けています。

○国立産朝顔の現況

朝顔の里で栽培される朝顔は「日本朝顔」で、あんどん仕立てとなっています。日本朝顔の最大の特徴は、大輪であることです。花は午前中に鑑賞を楽しめますが、午後には萎んでしまいます。都度、花芽を摘むことで秋口までの長期間、鑑賞することができます。

問い合わせ

くにたち朝顔市実行委員会
(国立市商工会内、国立市富士見台
3-16-4)
TEL : 042-575-1000
FAX : 042-574-1888
MAIL : k.asagaoichi@gmail.com



国立市
KUNITACHI CITY

文教都市くにたち

令和6年
7月

第36回

6(土) ●

7(日)

6:30~15:00

JR国立駅南口大学通り緑地帯

※一橋大学正門南

くにたち「朝顔の里」産
大輪の日本朝顔

1鉢2,000円

事前予約の場合1,800円

但し、品種は選択いただけますが、鉢を選んでのご購入できません。

事前予約受付期間/6月10日~6月28日

ご予約方法

ご予約はメール、FAX、郵便はがきにて、住所、お名前、
連絡先電話番号とご希望の品種(暁・富士)と希望数量を
ご記入の上、実行委員会事務局へお申し込みください。

ご予約・お問い合わせ先

くにたち朝顔市実行委員会(国立市商工会内) 〒186-0003国立市富士見台3-16-4

TEL: 042-575-1000 FAX: 042-574-1888

E-Mail: k.asagaoichi@gmail.com

【主催】くにたち朝顔市実行委員会

【後援】国立市／(財)くにたち文化・スポーツ振興財団／国立市商工会／

NPO法人国立市観光まちづくり協会／国立料飲組合／東京みどり農業協同組合国立支店

【協力】国立市社会福祉協議会

くにニャン
©国立市観光まちづくり協会
承認 2405



▲最新情報

